

【岐阜県】

現在の景気：持ち直しの動き。

3か月程度の見通し：原材料価格の高騰や円高に加え、欧州債務問題への懸念も根強いものの、緩やかに回復するとみられている。

個人消費：改善傾向。2月の新車登録台数（軽除く）は、エコカー補助金の効果から、全体では前年比30.6%増加。大型小売店販売（店調後）は前年比1.1%増と3か月連続で増加。

住宅建築：良化。2月の住宅着工戸数は、持家が前年比6.2%増加、貸家が27.9%増加、分譲住宅が95.3%増加し、全体では前年比22.2%増加。

設備投資：一進一退。十六銀行の企業動向調査（3月実施）による1-3月期の設備投資額は、前年同期実績をやや下回る。一方、共立総合研究所の「2012年3月K-R E X（共立地域景況インデックス）」による岐阜県の設備投資K-R E Xは、前回調査（2011年12月調査）比17.0ポイント上昇し 49.5。

公共工事：足許増加したものの、低調。2月の公共工事請負額は前年比48.3%増加。2011年度累計は前年度比3.7%減少。

生産活動：悪化。1月の鉱工業生産指数は、金属製品が前月比1.8%上昇、一般機械が6.3%上昇、輸送機械が3.8%上昇したものの、化学が43.0%低下、電気機械、電子部品・デバイス、精密機械も低下し、全体では前月比5.4%低下し94.3。

観光：一進一退。2月の下呂温泉宿泊者数は前年比1.5%増と10か月連続で増加。一方、長良川温泉宿泊者数は前年比2.8%減少、高山市観光客入込数も3.4%減少。

雇用情勢：良化。2月の有効求人倍率（季調済）は前月比0.03ポイント上昇し0.92倍。新規求人倍率（季調済）は前月比0.10ポイント上昇し1.49倍。1月の所定外労働時間（5人以上）は前年比5.1%減の9.2時間。

（トピックス）

十六銀行の企業動向調査（対象：地元取引先企業500社）によると、1-3月期の「総合判断指数」B.S.I.は前期（10-12月期）比1.8ポイント低下し12.4とわずかに悪化。4-6月期は7.0と改善予想。原油価格の上昇や円安傾向を受け、「仕入商品・原材料高」を経営上の問題点と考える企業が増加。

東京商工リサーチによると、3月の県内企業倒産件数（負債額1,000万円以上）は前年比6件減の18件、負債総額は43.9%増の85億4,700万円。

中部電力によると、2月の県内の販売電力量は前年比0.2%増の13億8,400万kwh。国土交通省が発表した地価公示で、県全体の下落率は2.6%（前年は2.7%）。住宅地の下落率は2.3%（前年は2.4%）、商業地は3.0%（3.3%）、工業地は2.7%（3.5%）。

1月の景気動向指数C I（県統計課、2005年=100）は、先行指数が前月比3.6ポイント上昇し96.2、一致指数が1.2ポイント上昇し100.6。

< 主要産業の動向 - 岐阜県 - >

一般機械：良化。1月の一般機械工業生産指数は前月比6.3%上昇し95.5。

窯業・土石製品：やや良化。1月の窯業・土石製品工業生産指数は前月比1.2%上昇し82.2。

繊維：やや良化。1月の繊維工業生産指数は前月比1.1%上昇し65.5。